

会議名	2023年 3月定例会	開催日 と時間	2023年3月11日（土） 13:30～15:00
開催場所	宇都宮市東コミュニティセンター	記録者	高橋 伸拓
出席者 （順不同）	9名： [敬称略] 塩山、今井、齊藤、野沢、安場、曾我部、岡田、佐々木、高橋		

【理事長挨拶】

コロナは大分収まってきているものの、多いので皆さんも気を付けていただきたい。

2. 議 事（敬称略）

(1) 技術・MG部門（今井）

① エコアクション21に関する活動

* 県内審査員を対象としたエコアクション21審査員力量向上勉強会を「地域事務局とちぎ」と共催2023年2月19日（日）に実施し県内全12名の審査員中11名の参加があった。今回の勉強会の狙いは、判定委員会から審査員にコメントが多い事項を審査員が共有することで今後各審査員がより良い審査を行うことを目指したものである。勉強会の後で一部の方から役に立ったとメールをいただいた。勉強会で話のあった大切な意見（審査の定義の明確化など）は中央事務局に伝えた。

* 第4回（最終回）自治体イニシャティブプログラム研修会を2月22日（水）に実施した。最終回の参加企業は5社。4回の研修会を通じて合計10社の参加があった。忙しい中、講師を担当していただいた審査員の皆様には御礼申し上げます。

(2) 自然保全活動部門

① キヤノンメディカルシステムズ(株) (CMSC) の生物多様性保全の支援活動（曾我部）

1) 3月7日に、「生き物が生育する環境整備の現場確認」を行った。

2) 環境整備は、エゴノキ、カンキ類の苗木の植樹、バードバス・巣箱の設置となる。

⇒協議の結果、上記2項目を実施することとなった。

3) 今年度CMSCは、「いきものの観察会」、「生き物が生育する環境整備イベント」、「バラの植栽を楽しむイベント」などの企画を予定しています。皆で、一緒に楽しみ、汗がかける企画です。

⇒冬のバラの剪定を実施したが、CMSCの上司から「是非こういった活動をやってほしい」と言われた。

⇒今後、蝶をはじめとする昆虫が蜜を吸いやすい、一重咲きのバラの導入を検討していく。

⇒企画はCMSCが企画しTECAが協力する、といったスタンス。イベントは事業所内で実施する。

(3) 交流推進部門(齊藤)

① 栃木県地球温暖化防止活動推進センターより、下野新聞との協賛で県内の企業や団体のSDGsの取り組みについて紙面で紹介する「環境アクションタイムズ」投稿の依頼があり、掲載原稿を投稿した。内容の確認が取れたため、3月23日の下野新聞に掲載となる。

(記事下広告 半3段サイズ=189mm×100mm※)

② 関東 ESD 活動支援センターの地域拠点研修会が3月5日に開催され参加した。

- ・ESDの全国加盟団体数174、関東加盟団体数45、うち栃木県4団体だった。
- ・当日参加者15団体で学校・教育関連団体の参加が多かった。
- ・学習指導要領が、幼稚園、小中高と順次2022年までにカリキュラムが改訂され、「SDGs教育を盛り込むこと」、「気候変動、地球環境問題に関する教科との関わりを盛り込む」ことになった。

(文科省・環境省)

※教職員や指導者の能力や知識レベルアップを確立する支援として、ESD ネットワーク形成による気候変動教育の推進を図るキックオフであった。(内容は別紙配信)

- ・また、生物多様性ネイチャーポジティブ(自然再興)のテーマについても、具体的な方法や工夫を学びあうネットワーク形成についても触れた。

※今後、TECAの力量で、学校教育の場に関わることが出来るか等の方向性を検討する必要がある。

⇒陣内先生と同席したため、TECAの勉強会にてお話いただくことも検討したい。

⇒会員がどこかで何かをやったら情報共有していく必要があるのではないか。お互いに個人の技量による活動が多いため、今後協力体制を構築するなど、検討していくこととする。

⇒生物多様性と条約などの話は、CMSCの活動にもつながる。

(4) 事務管理部門

① 総会に向けての日程について（塩山提案）

- 3月11日（土）定例会後、理事懇談会・総会への対応について
- ・今後のTECAの活動方針の検討、総会資料の作成依頼等

⇒各担当者が加除修正（赤字記入を3月末日）

- ・会費の検討について

◎4月4日に堀専務から再確認メールが行く。

⇒4月8日までに修正を書いて定例会に持ってきてほしい。

4月8日（土）定例会後、総会資料の校正等

5月13日（土）定例会後、理事会（総会議案最終検討）

5月25日頃 総会資料の発送(塩山理事長が堀専務へ電子データを送信)

6月10日（土）総会（13:30）

(5) その他

- ・各県環境カウンセラー協会の会費について（主に近県の調査結果）

令和5年3月塩山調査

環境カウンセラー協会名	正会員会費	賛助会員会費	その他会費	備考
環境カウンセラー群馬	3,000	3,000		
NPO 環境カウンセラー千葉県協議会	3,000			
NPO 埼玉環境カウンセラー協会	6,000	1,000	法人 3,000	
風人いばらき環境カウンセリング協会	3,300			
NPO かながわ環境カウンセラー協議会	6,000			
NPO 福島環境カウンセラー協会	従来 5,000 現在 3,000	従来 3,000 現在 1,000	学生 500 現在 500	H30 に変更
NPO 大阪環境カウンセラー協会	6,000			
NPO 滋賀環境カウンセラー協会	5,000	10,000		
NPO 茨城県環境カウンセラー協会	5,000	10,000		

その他関東地区の環境カウンセラー協会の会費は、募集案内が見つからず、定款も見つからず不明であった。

⇒正会員 3,000、賛助会員も 3,000 円で設定。令和 5 年から適用。

⇒会費変更に関する総会への議案の提示方法を検討。

⇒TECA 特別功労賞は検討中。（齋藤、野沢、岡田）

⇒とちの環県民会議 個人：齋藤理事 理事長の推薦状作成（3月末締め切り）

団体：平石地区カワラノギク保全会、クロコムラサキ保存会で検討

うじいえ自然に親しむ会は受賞歴無し

⇒3月25日で会計を締めるため、処理すべき支出は早急に報告してほしい（野沢）

以上